



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 鶴弥  
 コード番号 5386 URL <http://www.trv110.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鶴見 哲  
 (氏名) 村瀬 雅俊  
 配当支払開始予定日

TEL 0569-29-7311  
 平成25年12月3日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,708	4.2	466	14.3	450	19.2	269	△45.5
25年3月期第2四半期	5,480	△11.1	408	△43.4	378	△43.3	494	34.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	34.72	—
25年3月期第2四半期	63.74	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,543	10,699	61.0
25年3月期	17,540	10,484	59.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,699百万円 25年3月期 10,484百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	7.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	9.1	834	20.1	802	25.9	474	△26.1	61.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	7,767,800 株	25年3月期	7,767,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	10,432 株	25年3月期	10,432 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	7,757,368 株	25年3月期2Q	7,757,369 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な米国経済や円安の定着による輸出の持ち直しなど国内消費が底堅く推移し、景況感の改善が鮮明になってきました。

当業界におきましては、政府による住宅取得支援策の実施や、住宅の安心・安全への高い関心から、消費税増税前の新築住宅需要が増加し、住宅需要に回復の兆しが見えてきました。一方で、円安等の影響による原材料や燃料費等が高騰推移しており、引き続き厳しい経営環境に直面している状況にあります。

このような状況下、当社では今年4月から新たな中期経営計画「Try-130」をスタートさせ、国内外の景気動向を踏まえた柔軟な対応と、売上目標に向けて市場に左右されない業績への体制づくりを、全社を挙げて強力で推進しております。今年3月に新製品として発売を開始した、瓦一体型ソーラーパネルとの葺き合わせが標準設計されている「スーパーライ110スマート」が、8月には長期使用住宅部材標準化推進協議会の定める長期使用対応部材（CjK部材）の基準適合製品として、粘土瓦業界として初のCjKマークの利用許諾証が交付され、住宅部材の標準化を図ることに寄与しています。他方においては、昨今の異常気象現象による突風や暴風雨の被害において、当社の調査から自社製品の防災瓦の優れた安全性・機能性等が改めて見直されることができ、今後とも業績の拡充に努めてまいります。

売上高につきましては、安定した動きのJ形瓦に対し、新設住宅着工戸数（持家）の増加や、「スーパーライ110スマート」が大手ハウスメーカー様に採用されるなど、F形瓦は大幅に販売を伸ばすことができ、全体では前年同四半期を227百万円上回ることができました。損益面につきましては、生産効率の向上に努めましたが、原材料や燃料価格の高騰に直面し製造原価増を招き、売上原価率は1.0ポイント増の75.2%に上昇しました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高5,708百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益466百万円（前年同四半期比14.3%増）、経常利益450百万円（前年同四半期比19.2%増）、四半期純利益269百万円（前年同四半期比45.5%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産額は、前事業年度末に比べ2百万円増加し17,543百万円となりました。負債総額は、前事業年度末に比べ211百万円減少し6,844百万円となりました。純資産は、前事業年度末に比べ214百万円増加し10,699百万円となり、自己資本比率は61.0%（前事業年度末は59.8%）となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて349百万円減少し、1,247百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期累計期間に比べ413百万円減少し、205百万円となりました。

これは主に、増加要因としては、税引前四半期純利益451百万円（前年同四半期比72百万円減）等によるものです。減少要因としては、売上債権の増加額166百万円（前年同四半期比103百万円増）、割引手形の減少額189百万円（前年同四半期は割引手形の増加額724百万円）、法人税等の支払額78百万円（前年同四半期比330百万円減）等によるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間に比べ40百万円増加し、146百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出146百万円（前年同四半期比43百万円減）等によるものです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間に比べ24百万円減少し、408百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出350百万円（前年同四半期比25百万円減）等によるものです。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月30日の決算短信で公表しました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,609,334	1,259,885
受取手形及び売掛金	1,657,726	2,009,135
商品及び製品	1,543,930	1,408,491
仕掛品	49,139	57,029
原材料及び貯蔵品	156,950	159,967
その他	143,277	175,060
貸倒引当金	△13,282	△13,286
流動資産合計	5,147,076	5,056,281
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,722,764	1,683,205
機械及び装置（純額）	563,659	584,310
土地	9,195,043	9,195,043
建設仮勘定	51,917	180,002
その他（純額）	346,698	330,983
有形固定資産合計	11,880,083	11,973,544
無形固定資産	63,952	60,569
投資その他の資産		
投資有価証券	320,328	327,066
その他	129,271	126,014
投資その他の資産合計	449,600	453,081
固定資産合計	12,393,635	12,487,194
資産合計	17,540,712	17,543,476

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,772,921	1,599,666
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	590,000	390,000
未払法人税等	89,171	190,588
賞与引当金	226,317	272,480
役員賞与引当金	—	3,371
その他	489,304	600,574
流動負債合計	4,867,713	4,756,680
固定負債		
長期借入金	1,875,000	1,725,000
退職給付引当金	77,788	80,782
役員退職慰労引当金	194,231	205,738
その他	41,514	76,114
固定負債合計	2,188,534	2,087,635
負債合計	7,056,248	6,844,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	5,295,050	5,506,241
自己株式	△5,786	△5,786
株主資本合計	10,400,589	10,611,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,874	87,379
評価・換算差額等合計	83,874	87,379
純資産合計	10,484,464	10,699,160
負債純資産合計	17,540,712	17,543,476

(2) 四半期損益計算書  
(第 2 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高	5,480,794	5,708,352
売上原価	4,068,148	4,292,296
売上総利益	1,412,646	1,416,056
販売費及び一般管理費	1,004,047	949,077
営業利益	408,599	466,979
営業外収益		
受取利息	119	108
受取配当金	3,866	4,883
その他	14,113	12,849
営業外収益合計	18,099	17,840
営業外費用		
支払利息	28,752	23,632
手形売却損	3,818	3,791
その他	15,751	6,492
営業外費用合計	48,322	33,917
経常利益	378,376	450,902
特別利益		
固定資産売却益	1,950	228
受取保険金	143,424	—
特別利益合計	145,375	228
税引前四半期純利益	523,751	451,131
法人税、住民税及び事業税	6,640	178,996
法人税等調整額	22,655	2,763
法人税等合計	29,296	181,760
四半期純利益	494,455	269,371

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	523,751	451,131
減価償却費	246,511	181,307
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	52	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,451	46,163
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,984	3,371
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	711	2,994
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△491,149	11,507
受取利息及び受取配当金	△3,986	△4,991
支払利息	28,752	23,632
受取保険金	△143,424	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△62,711	△166,610
たな卸資産の増減額 (△は増加)	119,473	124,532
仕入債務の増減額 (△は減少)	△167,004	△193,559
割引手形の増減額 (△は減少)	724,420	△189,974
その他	△15,059	15,479
小計	766,771	304,987
利息及び配当金の受取額	3,989	4,989
利息の支払額	△30,832	△26,115
保険金の受取額	287,497	—
法人税等の支払額	△408,923	△78,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	618,502	205,229
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	120,000	—
有形固定資産の取得による支出	△189,999	△146,806
その他	△35,558	341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,558	△146,465
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△375,000	△350,000
配当金の支払額	△58,025	△58,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△433,025	△408,213
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	79,918	△349,449
現金及び現金同等物の期首残高	1,427,654	1,597,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,507,572	1,247,885



（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は陶器瓦の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。